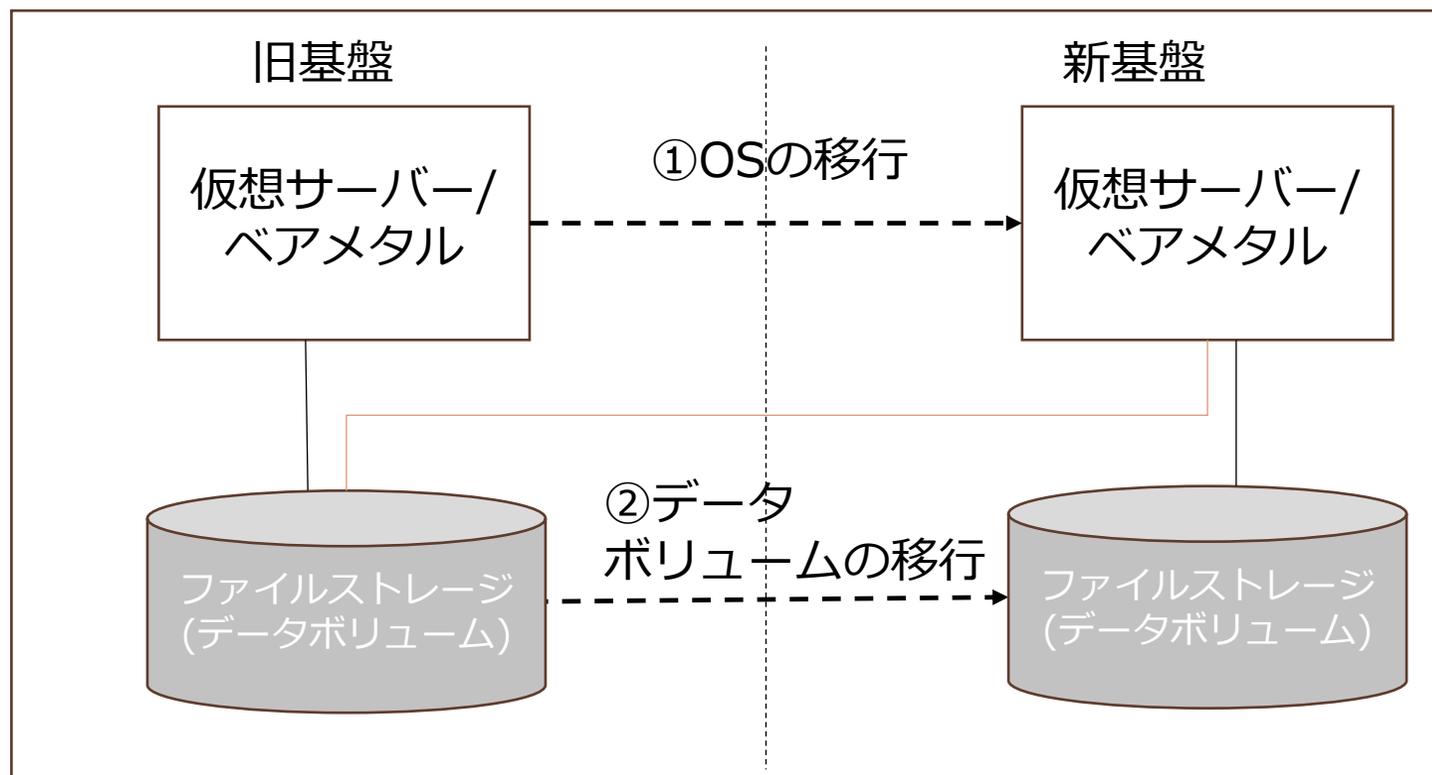


2.4 ファイルストレージのデータ移行手順

■ 前提条件および注意事項

- 移行作業にかかる時間は、データの容量やネットワーク環境によって異なります。
- ファイルストレージが使われているデータボリュームの移行方式についてはマウントしているOSによって変わります。
- Windows及びLinux系の手順については次頁以降をご確認ください。
- 本頁では②の手順について説明いたします。



2.3 ブロックストレージのデータ移行手順

■ 移行作業内容

1. 移行先ファイルストレージの作成
2. 移行先ファイルストレージのボリューム接続
3. データ移行作業
4. 移行元ファイルストレージの削除

1. 移行先ファイルストレージの作成

移行先ファイルストレージ（仮想ストレージおよびファイルストレージボリューム）の作成

以下リンクを参照し、移行先となる仮想ストレージおよびファイルストレージボリュームを作成します。
[ファイルストレージの新規作成方法](#)

2. 移行先ファイルストレージのボリューム接続

移行先ファイルストレージボリュームの接続

以下リンクを参照し、データ移行作業を実施するサーバ（※）に、移行先ファイルストレージボリュームを接続します。

- [ファイルストレージスタンダードのNFSボリュームへのLinuxからの接続](#)
- [ファイルストレージスタンダードのSMBボリュームへのWindowsからの接続](#)

※移行先ファイルストレージボリュームが接続されているサーバ

3. データ移行作業 (Linux)

Linuxの場合

3. データ移行作業 (Linux)

データ移行作業

データ移行を実施するサーバにログインし、移行元ファイルストレージボリュームから移行先ファイルストレージボリュームへcpコマンドを実行します。

```
# cp -auv 移行元ファイルストレージのマウントポイント 移行先ファイルストレージのマウントポイント
```

```
[root@rhel194-ki ~]# cp -auv /mnt/migration/migration_data /home/test/migration_data_from_oldrhel/  
'/mnt/migration/migration_data' -> '/home/test/migration_data_from_oldrhel/migration_data'  
'/mnt/migration/migration_data/testtext1.txt' -> '/home/test/migration_data_from_oldrhel/migration_data/testtext1.txt'  
'/mnt/migration/migration_data/testtext2.txt' -> '/home/test/migration_data_from_oldrhel/migration_data/testtext2.txt'  
[root@rhel194-ki ~]#
```

3. データ移行作業 (Linux)

cpコマンド実施後、以下のコマンドで移行先ファイルストレージボリューム上にデータが移行されていることを確認します。

```
# cd 移行先ブロックストレージのマウントポイント  
# ls -l
```

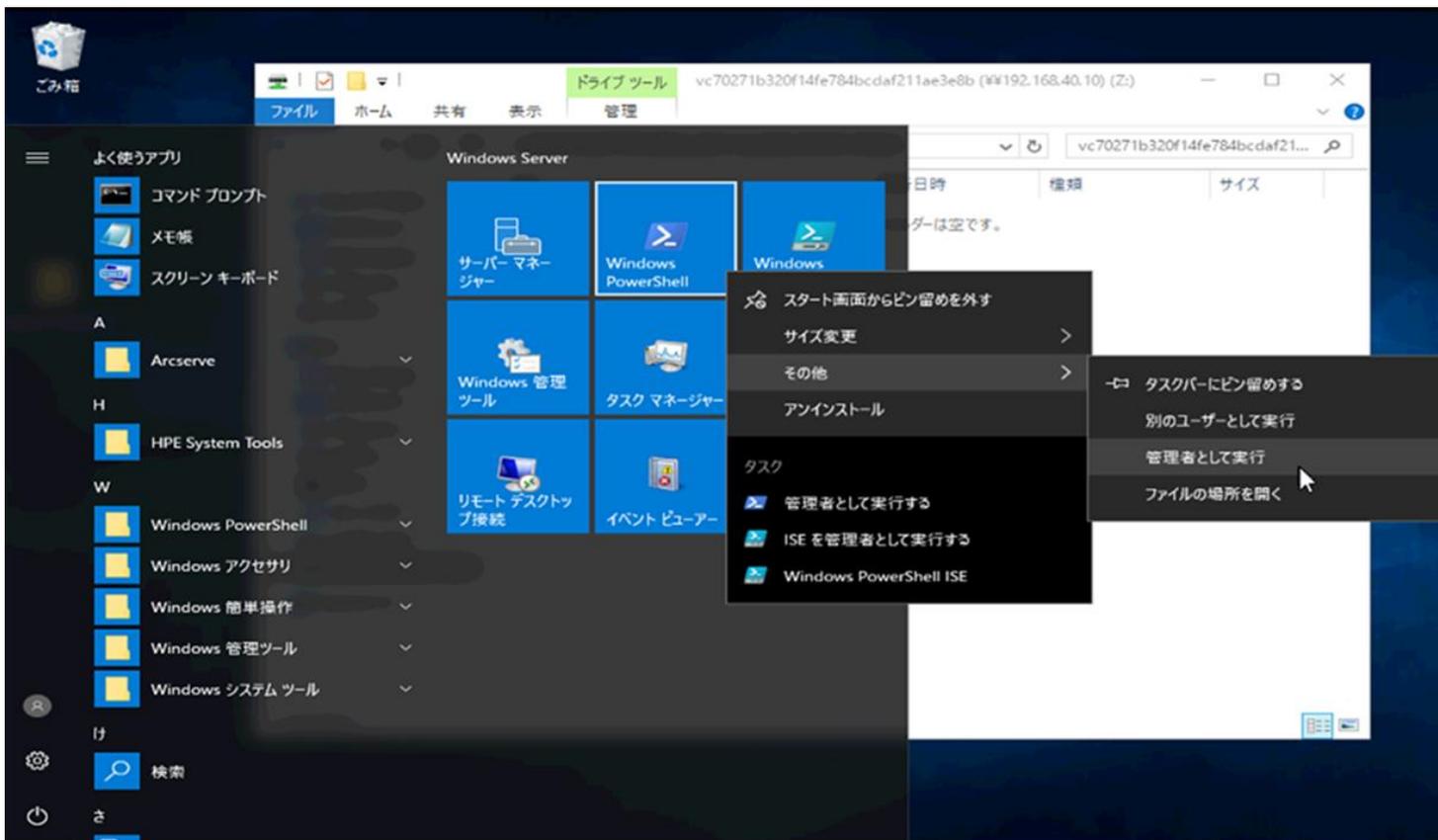
```
[test@rhel194-ki ~]$ cd migration_data_from_oldrhel/migration_data/  
[test@rhel194-ki migration_data]$ ls -l  
total 8  
-rw-rw-r--. 1 test test 24 Aug 26 03:15 testtext1.txt  
-rw-rw-r--. 1 test test 24 Aug 26 03:15 testtext2.txt  
[test@rhel194-ki migration_data]$ cat testtext1.txt  
testtext1_025 0826 1215  
[test@rhel194-ki migration_data]$ cat testtext2.txt  
testtext2_025 0826 1215  
[test@rhel194-ki migration_data]$
```

3. データ移行作業

Windowsの場合

3. データ移行作業 (Windows)

データ移行を実施するサーバにログインして、「スタート」→「検索」ボックスから「Windows PowerShell」を検索し、結果の一覧で、「Windows PowerShell」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。



3. データ移行作業 (Windows)

「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」と表示された場合、「はい」を選択します。



3. データ移行作業 (Windows)

起動した「Windows PowerShell」で、robocopyコマンドを実行し、移行元ファイルストレージボリュームから、移行先ファイルストレージボリュームへデータ移行を行います。

robocopy 移行対象のフォルダパス バックアップデータ保存用ストレージのパス /E /COPY:DT /XJ

```

管理者: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2016 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Windows\system32> robocopy C:\Users\test\Desktop \\\192.168.40.10\vc70271b320f14fe784bcdaf211ae3e8b\migration\Desktop /E /COPY:DT /XJ
-----
ROBOCOPY      ::      Windows の堅牢性の高いファイル コピー
-----
開始: 2025年9月2日 19:05:20
コピー元 : C:\Users\test\Desktop\
コピー先 : \\\192.168.40.10\vc70271b320f14fe784bcdaf211ae3e8b\migration\Desktop\
ファイル: *.*
オプション: *.* /S /E /DCOPY:D /COPY:DT /XJ /R:1000000 /W:30
-----
100% 新しいディレクトリ      3      C:\Users\test\Desktop\
100% 新しいファイル        282      desktop.ini
100% 新しいファイル         16      New Text Document.txt
100% 新しいファイル         25      test_250822.txt
-----
ディレクトリ:   合計   コピー済み   スキップ   不一致   失敗   Extras
ファイル:      3         3         0         0         0
バイト:      323        323         0         0         0
時刻:      0:00:00   0:00:00         0         0         0
-----
速度:          20187 バイト/秒
速度:          1.155 MB/分
終了: 2025年9月2日 19:05:20
PS C:\Windows\system32>

```

/E

/COPY: コピーフラグ

コピーフラグ

/XJ

空のディレクトリを含むサブディレクトリをコピーします。

ファイルにコピーする情報を指定します。

D=データ、T=代替データストリームをコピーしない

ジャンクションポイントとシンボリックリンクを除外します。

4. 移行元ファイルストレージの削除

移行先ファイルストレージへの移行が完了し、移行したデータに問題が無いことをご確認いただけましたら、移行元ファイルストレージの削除作業を行います。

4. 移行元ファイルストレージの削除

移行元ファイルストレージボリュームの接続解除

データ移行を実施したサーバにて、移行元ファイルストレージボリュームの接続を解除します。

<Linuxの場合>

データ移行を実施したサーバにて、umountコマンドを実行し、移行元ファイルストレージボリュームの接続を解除します。

コマンド例 : # umount /mnt/migration
 : # umount /data1

※/etc/fstab への記載によるマウントの永続化をしている場合は、該当箇所の削除します。

[リソースからファイルストレージボリュームへの接続](#)

<Windowsの場合>

以下リンクのページ最下部の「ドライブとしてのマッピングを解除する場合は、This PCから接続解除するドライブを選択して 'Disconnect'を選択します。」を参照して、移行元ファイルストレージボリュームの接続を解除します。

[ファイルストレージスタンダードのSMBボリュームへのWindows からの接続](#)

4. 移行元ファイルストレージの削除

移行元ファイルストレージボリュームの削除

SDPFポータルへログインし、メニューで、「ストレージ」→「ファイルストレージ」→「スタンダード」をクリックし、「仮想ストレージ」画面を開きます。

仮想ストレージ

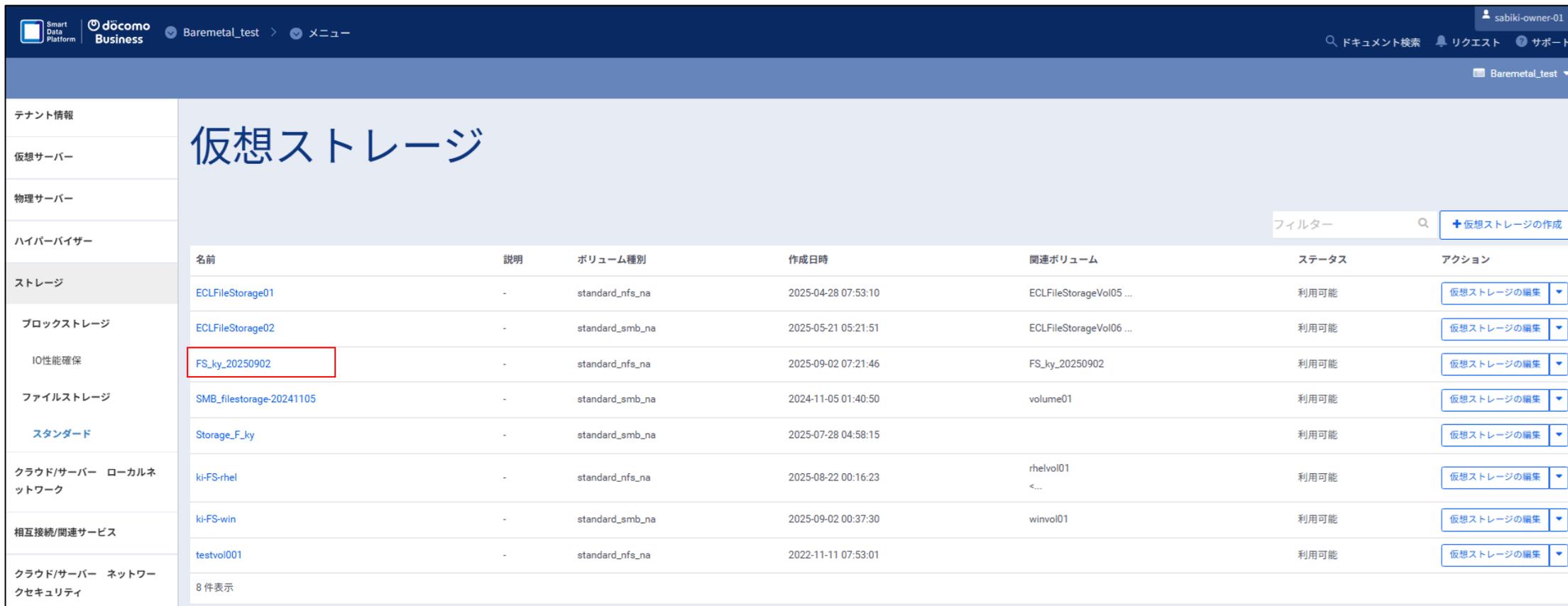
フィルター [+ 仮想ストレージの作成](#)

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
ECLFileStorage01	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10	ECLFileStorageVol05 ...	利用可能	仮想ストレージの編集
ECLFileStorage02	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51	ECLFileStorageVol06 ...	利用可能	仮想ストレージの編集
FS_ky_20250902	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46	FS_ky_20250902	利用可能	仮想ストレージの編集
SMB_filestorage-20241105	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50	volume01	利用可能	仮想ストレージの編集
Storage_F_ky	-	standard_smb_na	2025-07-28 04:58:15		利用可能	仮想ストレージの編集
ki-FS-rhel	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23	rhelvol01 <...	利用可能	仮想ストレージの編集
ki-FS-win	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30	winvol01	利用可能	仮想ストレージの編集
testvol001	-	standard_nfs_na	2022-11-11 07:53:01		利用可能	仮想ストレージの編集

8 件表示

4. 移行元ファイルストレージの削除

「仮想ストレージ」画面で、バックアップデータ保存用ストレージをクリックします。



The screenshot shows the '仮想ストレージ' (Virtual Storage) management interface. The table below lists the storage volumes, with 'FS_ky_20250902' highlighted in red.

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
ECLFileStorage01	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10	ECLFileStorageVol05 ...	利用可能	仮想ストレージの編集
ECLFileStorage02	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51	ECLFileStorageVol06 ...	利用可能	仮想ストレージの編集
FS_ky_20250902	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46	FS_ky_20250902	利用可能	仮想ストレージの編集
SMB_filestorage-20241105	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50	volume01	利用可能	仮想ストレージの編集
Storage_F_ky	-	standard_smb_na	2025-07-28 04:58:15		利用可能	仮想ストレージの編集
ki-FS-rhel	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23	rhelvol01 <...>	利用可能	仮想ストレージの編集
ki-FS-win	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30	winvol01	利用可能	仮想ストレージの編集
testvol001	-	standard_nfs_na	2022-11-11 07:53:01		利用可能	仮想ストレージの編集

4. 移行元ファイルストレージの削除

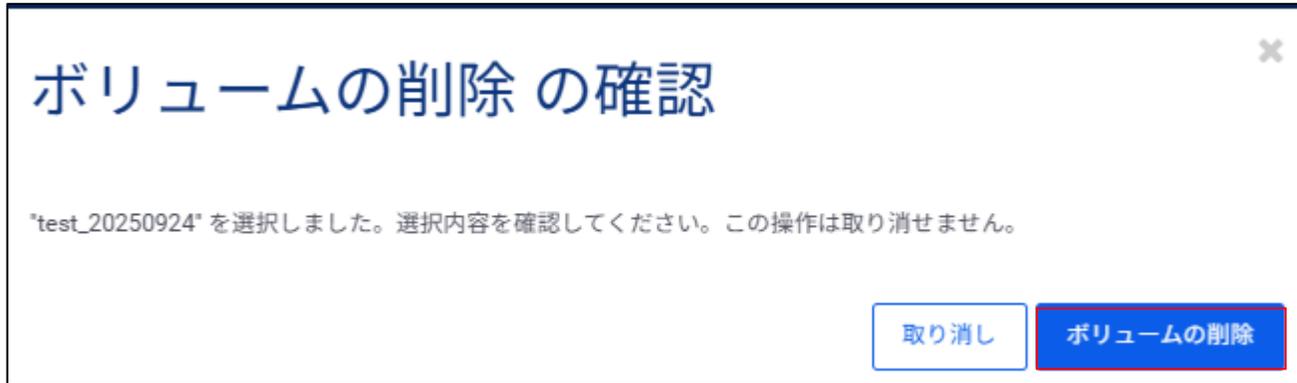
「仮想ストレージの詳細」画面が開くので、「ボリュームの編集」の右の「▼」を押し、「ボリュームの削除」を押下します。

The screenshot shows the '仮想ストレージの詳細' (Virtual Storage Details) page for volume 'FS_ky_20250902'. The interface includes a navigation menu on the left, a top header with user information and search, and a main content area with a table of volumes. The 'ボリューム' (Volumes) tab is active, and the 'ボリュームの削除' (Delete Volume) button is highlighted with a red box.

名前	説明	ゾーン/グループ	作成日時	サイズ	ステータス	アクション
FS_ky_20250902	-	zone1-groupa	2025-09-02 07:23:09	1024GB	利用可能	ボリュームの編集 ▼ ボリュームの削除

4. 移行元ファイルストレージの削除

「ボリュームの削除の確認」画面が表示するので、「ボリュームの削除」を押下します。



4. 移行元ファイルストレージの削除

「仮想ストレージの詳細」画面に戻りますので、移行元ファイルストレージボリュームが削除されたことを確認します。

The screenshot shows the NTT Docomo Business portal interface. The header includes the Smart Data Platform logo, the docomo Business logo, and the tenant name 'Baremetal_test'. The user 'sabiki-owner-01' is logged in. The main content area displays the title '仮想ストレージの詳細: Storage_F_ky'. Below the title, there are two tabs: '概要' (Overview) and 'ボリューム' (Volumes), with 'ボリューム' selected. A table lists storage volumes, but it is currently empty, displaying the message '表示する項目がありません' (No items to display). There are buttons for '仮想ストレージの編集' (Edit virtual storage) and '+ ボリュームの作成' (+ Create volume).

名前	説明	ゾーン/グループ	作成日時	サイズ	ステータス	アクション
表示する項目がありません						

4. 移行元ファイルストレージの削除

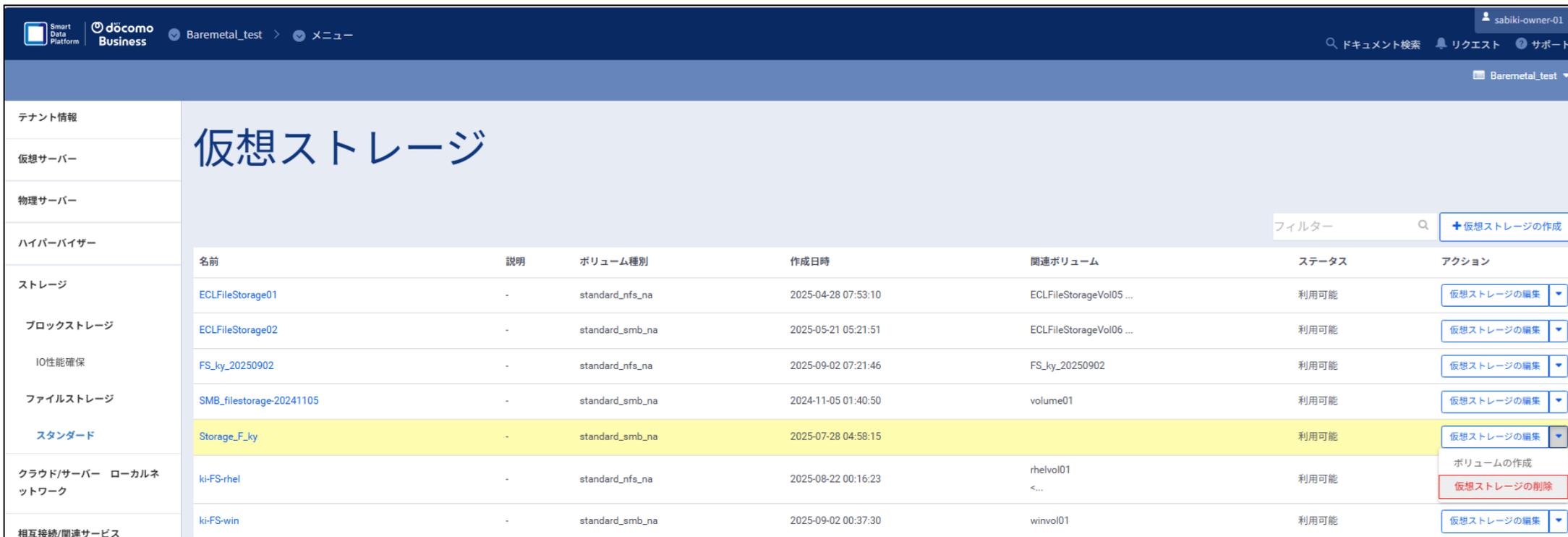
移行元ファイルストレージ（仮想ストレージ）の削除

「ストレージ」→「ファイルストレージ」→「スタンダード」をクリックします。

The screenshot shows the NTT docomo Business console interface. The main content area displays the details for a virtual storage named 'Storage_F_ky'. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: テナント情報, 仮想サーバー, 物理サーバー, ハイパーバイザー, ストレージ, ブロックストレージ, IO性能確保, ファイルストレージ, and 標準 (highlighted with a red box). The main content area has a header '仮想ストレージの詳細: Storage_F_ky' and a sub-header 'ボリューム'. Below this is a table with columns: 名前, 説明, ゾーン/グループ, 作成日時, サイズ, ステータス, and アクション. The table is currently empty, with the text '表示する項目がありません' (No items to display) centered below the header. There are buttons for '仮想ストレージの編集' (Edit virtual storage) and '+ ボリュームの作成' (Create volume).

4. 移行元ファイルストレージの削除

「仮想ストレージ」の画面が開くので、バックアップデータ保存用ストレージの右の「▼」を押し、「仮想ストレージの削除」を押下します。



The screenshot shows the '仮想ストレージ' (Virtual Storage) page in the NTT docomo Business console. The page includes a sidebar with navigation options and a main table listing storage volumes. The row for 'Storage_F_ky' is highlighted in yellow, and the '仮想ストレージの削除' (Delete Virtual Storage) option is visible in the 'アクション' column.

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
ECLFileStorage01	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10	ECLFileStorageVol05 ...	利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
ECLFileStorage02	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51	ECLFileStorageVol06 ...	利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
FS_ky_20250902	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46	FS_ky_20250902	利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
SMB_filestorage-20241105	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50	volume01	利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
Storage_F_ky	-	standard_smb_na	2025-07-28 04:58:15		利用可能	仮想ストレージの編集 ▼
ki-FS-rhel	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23	rhelvol01 <...	利用可能	ボリュームの作成 仮想ストレージの削除
ki-FS-win	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30	winvol01	利用可能	仮想ストレージの編集 ▼

4. 移行元ファイルストレージの削除

「仮想ストレージの削除の確認」の画面が表示されるので、「仮想ストレージの削除」を押下します。



4. 移行元ファイルストレージの削除

「仮想ストレージ」の画面に戻るので、移行元ファイルストレージ（仮想ストレージ）が削除されたことを確認します。



テナント情報

仮想サーバー

物理サーバー

ハイパーバイザー

ストレージ

ブロックストレージ

IO性能確保

ファイルストレージ

スタンダード

クラウド/サーバー ローカルネットワーク

仮想ストレージ

フィルター [+仮想ストレージの作成](#)

名前	説明	ボリューム種別	作成日時	関連ボリューム	ステータス	アクション
ECLFileStorage01	-	standard_nfs_na	2025-04-28 07:53:10	ECLFileStorageVol05 ...	利用可能	仮想ストレージの編集
ECLFileStorage02	-	standard_smb_na	2025-05-21 05:21:51	ECLFileStorageVol06 ...	利用可能	仮想ストレージの編集
FS_ky_20250902	-	standard_nfs_na	2025-09-02 07:21:46	FS_ky_20250902	利用可能	仮想ストレージの編集
SMB_filestorage-20241105	-	standard_smb_na	2024-11-05 01:40:50	volume01	利用可能	仮想ストレージの編集
ki-FS-rhel	-	standard_nfs_na	2025-08-22 00:16:23	rhelvol01 <...	利用可能	仮想ストレージの編集
ki-FS-win	-	standard_smb_na	2025-09-02 00:37:30	winvol01	利用可能	仮想ストレージの編集

2.4 ファイルストレージのデータ移行手順

■ 切り戻し方法

- 「手順4. 移行元ファイルストレージの削除」前であれば、移行元環境が残っているため、切り戻しが可能です。
- 「手順4. 移行元ファイルストレージの削除」後の切り戻しはできません。

2.4 ファイルストレージのデータ移行手順

■ 手順通り進まない場合の対処方法

- エラー等が発生した場合や手順に関する不明点がございましたら、チケットシステムよりチケット起票いただきお問い合わせください。

※チケット起票手順につきましては、「[SDPFクラウド/サーバー関連チケット起票方法](#)」をご参照ください。